

# 平成 24 年度 入学者選抜学力検査問題

## 数 学 (理系 β)

数学 I, 数学 A

数学 II, 数学 B

数学 III, 数学 C

### 注 意 事 項

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子及び解答用紙の中を見てはいけません。
- 問題は全部で 4 題あります。また、解答用紙は 4 枚あります。解答用紙枚数に過不足がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気がついた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 試験開始後、すべての解答用紙に受験番号、志望学部及び氏名を記入してください。受験番号の記入欄は各解答用紙に 2箇所あります。
- 解答は各問、指定された番号の解答用紙の おもて面にだけ 記入してください。
- 解答を指定された番号以外の解答用紙に記入した場合、採点の対象となりません。
- 裏面その他に解答を書いた場合、その部分は採点の対象となりません。
- 各問題の配点 50 点は 200 点満点としたときのものです。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

$\beta$

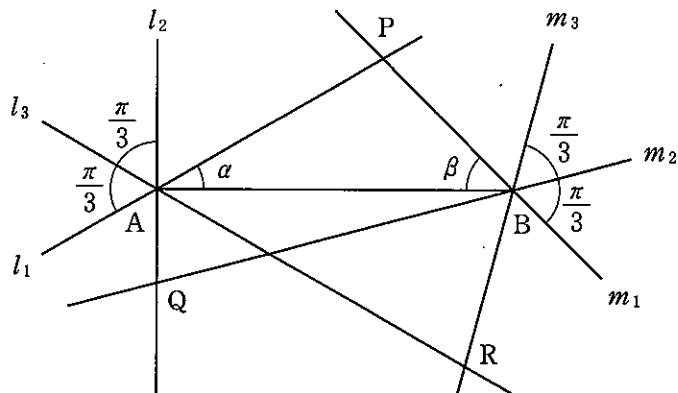
[ 1 ] (配点 50) 関数  $f(x) = -x^2 + 15x - 36$  と  $g(x) = \log_2(-x^2 + 15x - 36)$ について、次の問い合わせに答えなさい。

- (1)  $f(x) > 0$  となる  $x$  の範囲を求めなさい。
- (2)  $\log_2 3 = 1.585$  として、 $g(x)$  の最大値を小数で表しなさい。
- (3)  $f(g(x)) > 0$  となる  $x$  の範囲を求めなさい。

β

[2] (配点50) 平面上に異なる2点A, Bがある。Aを通る直線 $l_1, l_2, l_3$ とBを通る直線 $m_1, m_2, m_3$ が図のようく交わっており、直線 $l_1$ と $m_1$ の交点をP,  $l_2$ と $m_2$ の交点をQ,  $l_3$ と $m_3$ の交点をRとする。ただし、 $l_1$ と $l_3$ ,  $l_2$ と $l_3$ ,  $m_1$ と $m_2$ ,  $m_2$ と $m_3$ のなす角はすべて $\frac{\pi}{3}$ であり、 $0 < \angle PAB < \frac{\pi}{3}$ ,  $0 < \angle PBA < \frac{\pi}{3}$ である。 $\alpha = \angle PAB$ ,  $\beta = \angle PBA$ として、次の問いに答えなさい。

- (1)  $\angle APB + \angle AQB$ を求めなさい。
- (2) 5点A, Q, R, B, Pが同一円周上にあることを示しなさい。
- (3) 5点A, Q, R, B, Pを通る円の半径が1であるとき、五角形AQRBPの面積を $\sin \alpha, \sin \beta, \sin 2\alpha, \sin 2\beta$ を用いて表しなさい。



β

[ 3 ] (配点 50) 2 点 A, B は, AB = 2 を満たしながら

放物線  $C: y = \frac{1}{2}x^2 - x + \frac{3}{2}$  の上を動く点とする。このとき, 次の問い合わせに答えなさい。

- (1) AB の中点を P とする。A, B, P の x 座標をそれぞれ  $a, b, p$  とするとき,  $a + b$  と  $ab$  の値をそれぞれ  $p$  を用いて表しなさい。
- (2) P の y 座標を  $p$  を用いて表しなさい。
- (3) P の x 座標に対して P の y 座標を定める関数を  $y = f(x)$  とする。2 つの曲線  $y = f(x)$ ,  $y = \frac{1}{2}x^2 - x + \frac{3}{2}$  と 2 直線  $x = 0$ ,  $x = 2$  で囲まれた図形の面積を求めなさい。

[ 4 ] (配点 50)  $xy$  平面において、直線  $y = 8$  の上に点  $P_1, P_2, P_3, P_4, P_5$  が、直線  $y = 0$  の上に点  $Q_1, Q_2, Q_3, Q_4, Q_5$  が、それぞれ  $x$  座標の小さい順に並んでいる。これらを  $y = 8$  上の点と  $y = 0$  上の点ひとつずつからなる 5 つの組に分け、それぞれの組の 2 点を結んでできる 5 本の線分を考える。下図はその一例である。このとき、次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 3 本の線分  $P_iQ_n, P_jQ_m, P_kQ_l$  が 1 点  $R$  で交わるとき、 $\frac{P_iP_j \cdot Q_lQ_m}{P_jP_k \cdot Q_mQ_n}$  を求めなさい。ただし、 $i < j < k$ かつ  $l < m < n$  であるとする。
- (2)  $P_i, Q_i (1 \leq i \leq 5)$  の  $x$  座標を  $2^i$  とするとき、どのような結び方をしても 3 本の線分が 1 点で交わらないことを(1)を用いて背理法で示しなさい。
- (3)  $P_i, Q_i (1 \leq i \leq 5)$  の  $x$  座標を  $2^i$  とするとき、交点の数の合計がちょうど 2 つになるような結び方は何通りあるかを答えなさい。

